

高浜発電所第1、2号機審査資料	
資料番号	3 改4
提出年月日	2023年5月9日

設計及び工事計画認可申請【高浜発電所第1、2号機使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更】  
コメント整理表

黄色ハッチング：審査会合コメント

No.	コメント日	ヒアリング/審査会合	コメント内容	対応（予定又は実績）	回答日	反映資料	回答状況
1	2月1日	第1回ヒアリング	「表1 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の主要設備リスト」に変更がない場合の申請書への記載要否を検討すること。	表1に変更がない旨を申請書注釈にて明確化し補正申請予定	2月22日	資料2-1	回答済
2	2月1日	第1回ヒアリング	基本設計方針における臨界防止の設計条件の記載箇所を検討すること。	記載を検討し、補正申請予定	2月22日	資料2-1	回答済
3	2月1日	第1回ヒアリング	計測制御系統施設と兼用されている48体以外の制御棒について、使用前確認を受けているのかを確認すること。	1号については、基本設計方針に対する検査を実施済みであり、2号についても実施予定であることを回答済み	2月16日審査会合にて回答済	-	回答済
4	2月1日	第1回ヒアリング	添付資料2 未臨界説明書における各添付資料の要否を検討すること。	既工認の添付資料に合わせて取捨選択、補正申請し、その他の資料は補足説明資料とする予定	2月22日	資料2-1	回答済
5	2月1日	第1回ヒアリング	添付資料2 未臨界説明書に設置許可添付八記載の評価条件を記載することについて検討すること。	記載を検討し、補正申請予定	2月22日	資料2-1	No.13にて再回答
6	2月1日	第1回ヒアリング	実効増倍率の不確定性について、水位が低下した場合の影響の有無を資料を用いて説明すること。	No.18にて再回答	3月22日	資料2-2	No.18にて再回答
7	2月16日	第1回審査会合	冠水～水位1000mmまでの設計公差による不確定性を説明すること。	ヒアリング:No.18にて再回答 審査会合：第2回審査会合にて回答予定	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.18にて再回答
8	2月16日	第1回審査会合	部分水位で臨界となる臨界実験の体系詳細と本評価に展開した際の見解を示すこと。	ヒアリング:No.18にて再回答 審査会合：第2回審査会合にて回答予定	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.18にて再回答
9	2月16日	第1回審査会合	塩素を含む体系のベンチマーク結果の本評価における扱いについて説明すること。	ヒアリング:No.21にて再回答 審査会合：第2回審査会合にて回答予定	3月22日	資料1改1、資料2-2	No.21にて再回答
10	3月8日	第2回ヒアリング	・制御棒クラスタのうち計測制御系統施設と兼用されていないものが本申請によりどう扱われるか説明すること。	第5回ヒアリングにて回答予定 本申請により、兼用されていない制御棒クラスタもSA設備から除外されることを説明。	3月22日 4月13日	資料2-1改2	No.25にて再回答

No.	コメント日	ヒアリング/審査会合	コメント内容	対応（予定又は実績）	回答日	反映資料	回答状況
11	3月8日	第2回ヒアリング	・基本設計方針における臨界防止の設計条件の記載のうち、26条に対する記載と69条 1 項に対する記載が異なる意図を説明すること。	第 3 回ヒアリングにて説明済	3月22日	資料2-1改1	回答済み
12	3月8日	第2回ヒアリング	・69条1項に対する臨界防止設計条件の記載箇所を適正化する場合 は、使用される具体的な設備を記載する必要があるかを検討すること。	No.14にて再回答	3月22日	資料2-1改1	No.14にて再 回答
13	3月8日	第2回ヒアリング	・添付資料 2 未臨界説明書への設置許可添付八記載の評価条件の 反映箇所を再検討すること。	No.15にて再回答	3月22日	資料2-1改1	No.15にて再 回答
14	3月31日	第3回ヒアリング	・資料2-1で示した小規模漏洩時の臨界評価条件の記載を修正する こと。	資料2-1を修正し、第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	回答済み
15	3月31日	第3回ヒアリング	・「臨界に達しないことに関する説明書」への設置許可記載の解析条件 の反映方法を再検討すること	第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	No.28にて再 回答
16	3月31日	第3回ヒアリング	・「不確かさ」、「不確定性」の定義を記載するとともに、結論中で不確か さ等の影響についても言及すること	第5回ヒアリングにて一部回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	No.32にて再 回答
17	4月4日	第4回ヒアリング	・未臨界性の評価、判定の方法について、説明書本文への追記を検 討すること。	塩素を含まない体系の評価結果に基づき追記予 定。	未回答		未回答
18	4月4日	第4回ヒアリング	・資料2-2について、不確定性と使用済燃料ピット水位の関係性の説 明を拡充すること。	塩素を含まない体系の評価結果に基づき追記予 定。	未回答		未回答
19	4月4日	第4回ヒアリング	・不確定性／不確かさの用語の使い分けを資料に反映すること。	第5回ヒアリングにて回答予定	4月13日	資料2-1 改 2	No.32にて再 回答
20	4月4日	第4回ヒアリング	・ベンチマークの扱いを①解析コードの適用の妥当性②不確定性に分け て再度説明すること。	資料2-2を修正し、第5回ヒアリングにて回答予定	4月19日	資料2-2 改 1	No.23にて再 回答
21	4月4日	第4回ヒアリング	・塩素の不確定性をどのように扱うのかについて再度整理して説明するこ と。	評価体系より、塩素を抜いたうえで再評価を実施す る。	4月19日	資料2-3	評価結果を今 後回答予定
22	4月26日	第5回ヒアリング	・計算コードの不確定性の算出方法が既工事計画時点から変更がな いことを説明すること。	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料2-2 改 2	
23	4月26日	第5回ヒアリング	・臨界実験ベンチマーク数の変遷及び取り扱いを整理すること。	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料2-2 改 2	
24	4月26日	第5回ヒアリング	・高EALFの臨界実験ベンチマーク体系の説明を追加すること。	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料2-2 改 2	
25	4月27日	第6回ヒアリング	・今回の申請でやりたいこと（制御棒クラスタ等を核燃施設のSA設備と して使用することを廃止すること等）を整理するとともに、今回の申請書 上で分かるように記載すること。	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料2 改 1	
26	4月27日	第6回ヒアリング	・資料 1 の審査会合資料の条文適合性の説明についても同様に本申 請でやりたいことが分かるように記載すること。	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料1 改 2	

No.	コメント日	ヒアリング/審査会合	コメント内容	対応（予定又は実績）	回答日	反映資料	回答状況
27	4月27日	第6回ヒアリング	・既工認申請書の記載に対する申請時の当社の考え方を整理すること。 (資料2 - 1 別紙7の許可整合の添付資料は引用している箇所を整合させること。)	第7回ヒアリングにて回答予定	5月9日	資料2 改1	
28	4月27日	第6回ヒアリング	・添付資料2 未臨界説明書への設置許可添付八記載の評価条件の反映に当たっては重複のないように再検討すること。	検討中	未回答		未回答
29	4月27日	第6回ヒアリング	・同じ資料の(2) a.計算体系の「燃料有効長上部は低水密度状態においても」という記載の適正化を検討すること。	検討中	未回答		未回答
30	4月27日	第6回ヒアリング	・同じ資料の(2) c.(e)の記載の適正化を検討すること。	検討中	未回答		未回答
31	4月27日	第6回ヒアリング	・「最適評価手法」という文言の適正化若しくは削除を検討すること。	検討中	未回答		未回答
32	4月27日	第6回ヒアリング	・「不確かさ」「不確実性」の定義について再度検討すること。	検討中	未回答		未回答
			(以下余白)				